

病棟ナースに聞きました 高齢者医療センターの ここがいいね！

こんな時 うれしい！

- ・患者さんの不安や孤独・寂しさに寄り添い、笑顔がみられた時はうれしくやりがいを感じる。
- ・患者さん自身でできることが少しずつ増えてきた時に感動する。
- ・患者さんとの関わりの中で、私たちの知らなかった知識や景色、人生経験について学ぶことも多い。
- ・「認知症」という一つの疾病であっても症状や言動が一人ひとり違うため、個別対応が大切。その都度関わり方を探り、患者さんと心が通じた時はうれしい。



高齢者医療センターの管理栄養士オススメ！ 自然食品さしすせそ

2020年12月にオープンした、オーガニック食品を販売する「自然食品さしすせそ」では野菜や調味料、パンやお菓子など幅広い商品が揃っています！
看板商品は「鐵(てつ)次郎」というお醤油です！
店長さんはこのお醤油との出会いがきっかけで、お店を始められたそうです。
また、種類豊富な朝採れの無農薬野菜や国産小麦の焼き菓子なども販売しています(^^)
平日(月曜日を除く)には、お弁当の販売もしています。
水曜日はパンの販売、木曜日には西大寺町商店街で行われる木曜日での出店販売もあります。
店長さんのこだわりや思いの詰まった素敵なお店です。是非足を運んでみてくださいね。



かわさき訪問介護ステーション医療介護福祉士 志茂夏海

No.1 多職種連携

- ・通常の病棟回診以外に多職種カンファレンス・認知症回診・褥瘡回診があり、様々な部門・経歴のスタッフと日々意見を出し合っている。
- ・他職種とのコミュニケーションがよくとれている。

No.2 病棟のデイルーム

- ・外の景色を眺めながら食事や会話、レクリエーションを行える。
- ・クリスマス・正月・節分など季節感のある装飾品を患者さんと制作して飾りつけを楽しんでいる。
- ・ベージュや緑色を基調とした和風の内装で、落ち着いて過ごせる。



No.3 屋上庭園

- ・多種類の植栽があり、風通しもよく癒される。
- ・なだらかな傾斜があり歩行練習によい。
- ・ベンチで気軽に休憩できる。

3階病棟看護師 松浦公美花

こもれびの校庭植物図鑑 寒椿 (カンツバキ)



山茶花(サザンカ)と椿(ツバキ)はどちらもツバキ科ツバキ属。
見た目がそっくりですが区別できますか？
見分け方は①開花時期；山茶花は10月ごろから、椿は12月ごろから開花。②開花の形；平べったく全開になるのが山茶花、おわん型に咲くのは椿。③花の散り方；花弁が一枚一枚散るのが山茶花、花が丸ごと落ちるのが椿。④葉の付け根部分に毛が生えているのが山茶花。園芸品種ではこれらの特徴に当てはまらない場合もあります。
寒椿は実は椿ではなく山茶花の仲間。
11月ごろから開花しますのでお楽しみに。

季節の和菓子 亥の子餅



イノシシの子供に見立てた和菓子。
イノシシは赤ちゃんをたくさん産むことから、旧暦の10月の亥の日(今年は11月7日)に食べることで無病息災や子孫繁栄を願う。

こもれび

2024年
秋冬号
(第2号)

題字：3階病棟ご入院Aさん書



おかげさまで一周年を迎えました

特集

認知症特集 第一弾

認知症を知ろう

病棟ナースに聞きました

発行

学校法人川崎学園
川崎医科大学高齢者医療センター

掲載記事募集のお知らせ

“こもれび”に掲載する記事(200字程度)を募集しています。
写真やイラストも大歓迎。総合受付にお持ちください。

認知症を知ろう!



認知症のお薬

★認知機能障害に使用する薬★

認知症の進行を少し遅らせることができるお薬や、認知症が原因で起こる症状を改善させることができるお薬があります。

★抗認知症薬★

神経伝達物質の乱れを調節する働きを持っているお薬が抗認知症薬です。現在コリンエステラーゼ阻害薬3種類とNMDA受容体拮抗薬1種類があります。

●主なコリンエステラーゼ阻害薬

薬名	適応	特徴
ドネペジル塩酸塩 (アリセプト®)	アルツハイマー型認知症 レビー小体型認知症	脳賦活作用が強い。自発性の低下している人に良い。怒りっぽい患者さんに投与すると、さらに怒りっぽくなることもある。吐き気などの消化器症状などの副作用にも注意。
ガラントミン (レミニール®)	軽度から中等症のアルツハイマー型認知症	1日2回内服する薬剤で、怒りっぽさや興奮が抑えられる場合がある。
リバステグミン (イクセロンパッチ®)	軽度から中等症のアルツハイマー型認知症	貼付剤。意欲や食欲の低下に効果的な場合がある。長く貼っていると貼ったところがかぶれることがあるので注意。

主な副作用

- ・消化器症状 (食欲不振、悪心・嘔吐、腹痛・下痢など)
- ・不整脈 (徐脈、心ブロック、期外収縮) ・失神、めまい、傾眠 ・てんかん、けいれん

薬名	適応	特徴
メマンチン (メマリー®)	中等度～高度のアルツハイマー型認知症	神経の興奮を抑えるお薬のため、興奮症状の強い患者さんに使うと興奮症状を抑えることができる場合がある。めまいやふらつき、過鎮静などの副作用が出ることがある。

主な副作用

- ・めまい、傾眠、頭痛、便秘、けいれん、失神、意識消失
- ・消化器症状・肝機能障害・完全房室ブロック・徐脈性不整脈

★新しいお薬★ 抗アミロイドβプロトフィブリル抗体製剤

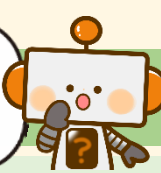
レカネマブ (レケンビ®)

「アルツハイマー病による軽度認知障害」と「アルツハイマー病による軽度認知症」に対するお薬です。レケンビ®は、病気の進行を遅らせるためのお薬で、認知機能の低下を緩やかにすることが期待されています。

治療方法：2週間ごとに約1時間点滴をします。7回目、14回目の投与前にはMRI検査をします。お薬の投与中は6か月ごと、また投与開始後18か月を目安に医師が症状に基づき、お薬の効果や、病気の進み具合などを検討し治療の継続や中止を判断します。

認知症

Q&A



Q 認知症の原因になる病気にはどのようなものがありますか？

H25年厚生労働省報告では、アルツハイマー型認知症(67.6%)、脳血管性認知症(19.5%)、レビー小体型認知症(4.3%)、前頭側頭型認知症(1.0%)、アルコール性認知症(0.4%)、混合型(3.3%)、その他(3.9%)となっています。

Q 原因によって症状が異なりますか？

それぞれの病気の初期症状は以下のとおりです。

アルツハイマー型認知症：忘れっぽくなった、言葉が出づらい、日付があいまい、計算が苦手、段取りが出来ない、怒りっぽくなった、億劫がる

脳血管性認知症：怒りっぽくなった、感情が抑えられない、脱力や麻痺、夜間の混乱

レビー小体型認知症：いないはずの人や動物が見える、夜中に大声で寝言を言う、動作が遅く転びやすい

前頭側頭型認知症：周囲に配慮がない、性格が変わった、相手の言葉の意味が分からない、同じ行動を繰り返す

Q 認知症以外にも認知症とよく似た症状を示す病気がありますか？

せん妄(一時的な意識障害)、うつ、妄想性障害、甲状腺機能低下症、ビタミンB群の不足、薬剤の副作用などがあります。これらの病態では適切な治療により症状が顕著に改善することがありますので、鑑別が重要です。

Q 認知症を疑った場合、どのような検査を行うのですか？

まず問診と診察を行います。当院では臨床心理士による認知機能検査と老年期うつ病評価尺度の評価を行っています。次に採血によって認知症とよく似た病気の鑑別診断を行います。それらにより認知症と考えられた場合には、頭部MRIと核医学検査によって認知症の原因疾患を診断します。

レカネマブ (レケンビ®) の作用

アルツハイマー病は、脳のアミロイドβ(Aβ)と呼ばれるたんぱく質が脳の中に塊を作ったままです。

この塊が神経細胞を障害することで、神経細胞の働きが落ち、数が減って、脳の萎縮が進むといわれています。また、脳のなかにはタウというたんぱく質もあり、タウの異常が神経細胞を障害しますが、Aβの蓄積はタウの異常を促進すると考えられています。

Aβは認知機能低下を起こす10～20年以上前から脳にたまり始めることが知られています。レケンビ®はAβが塊になる途中の物質(Aβプロトフィブリル)にくっつくことで、異物を排除する細胞のミクログリアを引き寄せAβを取り除きます。

◆気になる副作用◆

点滴に伴う反応

点滴を投与した後に起こる反応で、頭痛、悪寒、発熱、吐き気、嘔吐などの症状が現れることがあります。

ARIA (アミロイド関連画像異常)

脳のむくみ、脳の出血、血液がかたまり付着することが報告されています。まれに頭痛、錯乱、視覚障害、めまい、吐き気、歩行障害などの症状が現れる場合があります。